

第 5 回基本計画審議会における傍聴者数と意見・感想

◇第 5 回審議会傍聴者数

		傍聴者数
会場	一般	6 人
オンライン	一般	6 人
	区職員	123 人
合計		135 人

※動画視聴回数（1 月 31 日 10 時時点）：133 回

◇傍聴者意見

（傍聴者 A）

地区別特性として 4 つの世田谷区内の地区があると涌井先生が言われ、その将来像を明確にすべきとの発言があったが、今回の基本計画の中にどう落とし込めるか？ 逆にこの計画になじめないのではないか？ との懸念も考えられる。

（傍聴者 B）

・本日は 3 つのテーマ別意見交換は大変深く掘り下げて報告されて勉強になりました。
 ・テーマごとにパネリストが深く報告され、それぞれのパネリストによる意見交換でさらに深められて理解が深まりました。パネリストによるペーパーが回収されて残念です。出来ればパネリストの報告ペーパーを公開していただくと良いのですが、いかがでしょうか。市民の議論をすすめるためにも参考になり、重要と考えますが。
 ・コミュニティ・参加と協働による区民の力を引き出すことの方の考え方の基本は大切だと思います。介護保険導入後のこの考え方を広げる上で、有限な税と社会的理解の広がりにより制約されており、やはり公的な支援をさらに強化が必要だと思います。中村先生の提起されたベーシックサービスの堅持が大事との声はその通りと思います。
 ・涌井先生のまちづくりにおいて、「世田谷における町づくり像」「どんな町をつくるか」を示すことが重要だとの提起は大賛成です。そのために二子玉川や下北沢の経験・取組みを分析し、今後どう生かすか、焦点になっている三軒茶屋をどうするかも提起も大変重要と考えます。今後期待します。

（傍聴者 C）

2022 年に娘が生まれ、時間の使い方が変わり、散歩が日課になりました。環境も付き合う人も変化してきています。早朝 2 時間ほど散歩をすると、私もきっと誰かを支えているし、支えられているのだなと想像力が湧き、日頃抱えているモヤモヤの気分が晴れるのが不思議です。今まで、こんな事は思いもしなかったのに。時々、全てが嫌になって、もう全部いいやと思って、本で読んだポートランドへいつか行ってみたいと思うけれど、なぜ行きたくなるか自分でもよくわかりません。さて、今流行っている open AI は、私のこんな文章を一瞬で正しく、読みやすく、論点もまとめてくれます。自信がなくなりますが、だからこそという気持ちになります。AI がどんなに公平で、公正で、統計に基づき真実な結果を出しても納得はできないと思います。なぜだかはよくわかりません。

（傍聴者 D）

○テーマ 1：子ども・若者が笑顔で過ごせるために必要な取組みについて
 3 つの壁（①保健・医療②福祉③教育）に代表される縦割りの弊害が、いまだに根強いことを考えると、「こども家庭センター」設置に見られるような現場とギャップを持ってしまう仕組みは、意味を見出しにくい。区レベルでそのギャップを埋めていくことに期待したい。

○テーマ 3：世田谷を安全で一層魅力的なまちにするために必要な政策について
 涌井委員、小林委員の「one health」あるいは「地球的コモン」の位置づけを、しっかり見せることが必要と考えます。
 ・第 4 回の意見の中で、「one health」「ウォークアブルな街づくり」など、将来をイメージできるキーワードも多々示され、ベースが明確になっていると思われ、本日のテーマ別意見交換でより深い意見が示されており、期待したいと思います。